

主な機能

区分	機能名	機能概要
電力自動検針サービス	30分使用量管理機能	検針値の自動取得と管理を行う機能
	検針値一覧表示 / 出力機能	検針値を一覧表示、CSVファイルにて出力を行う機能
	欠測補完機能	検針値取得状況を確認し不足分について自動的に遠隔取得を行う機能
	開閉器制御機能	電力利用停止 / 停止解除を行う開閉器の遠隔制御機能
	時刻同期	スマートメーターとの時刻情報同期機能
電力見える化サービス (※)	使用量グラフ表示	電気使用量をグラフ表示 (スマートメーター単位)

※「電力見える化サービス」は利用者向けの見える化画面であり、オプション提供となります。

画面イメージ



導入形態とスマートメーター (通信部) 機器仕様

導入形態

サービス内容	初期導入	スマートメーター本体 導入支援サービス
	月額利用	電力自動検針サービス
		電力見える化サービス
		通信利用料
システム形態	クラウド型	

機器仕様 (通信部)

寸法 ※計量部に内蔵	幅: 85mm 高さ: 81.5mm 奥行: 45.5mm
Aルート	4G LTE
Bルート	920MHz無線方式
性能保証条件	-10℃~50℃ 95℃以下 結露なし
LED / 冷却方式 / EMC	1個3色 / 自然空冷 / VCCI ClassB

※スマートメーター本体は計量部と通信部から構成され、計量部は通信部と接続検証済みの機器を提供します。
(2018年2月時点では富士電機メーター株式会社製の計量器と接続検証済みです。)
※費用に関しては導入台数に応じて個別見積となります。数台規模からの試験導入サービスもご提供可能です。
詳細は弊社総合窓口よりお問い合わせください。

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されている内容については、改良等のために予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン (総合窓口)

0120-933-200

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

FUJITSU Intelligent Society Solution 特定データ収集サービス スマートメーターネットワークソリューション



FUJITSU Intelligent Society Solution

特定データ収集サービス

高圧一括受電事業者、ビル / テナント管理事業者向け
スマートメーターネットワークソリューション

スマートメーターのネットワーク化により大幅な検針業務の効率化、
エネルギーデータ利活用サービスの提供を実現します。

こんなことでお困りではありませんか？

検定有効期間の満了を迎えるアナログメーターがあり、新しくスマートメーターを簡易に導入したい

小規模物件や全件一斉交換が難しい物件等で、段階的にスマートメーターの導入を行いたい

電力使用量を詳細に把握することで、ピーク抑制や節電を推進し、エネルギー利用の最適化を実現したい

FUJITSU Intelligent Society Solution 特定データ収集サービスの3つの特長

ワンストップ提供

スマートメーター、通信ネットワーク電力自動検針サービスをワンストップ提供

柔軟な導入

1:n 無線方式（※1）により数台規模からのスマートメーターシステム導入が可能

エネルギー利用最適化

30分電力使用量データや B ルート（※2）通信機能を活用してエネルギー利用の最適化を実現

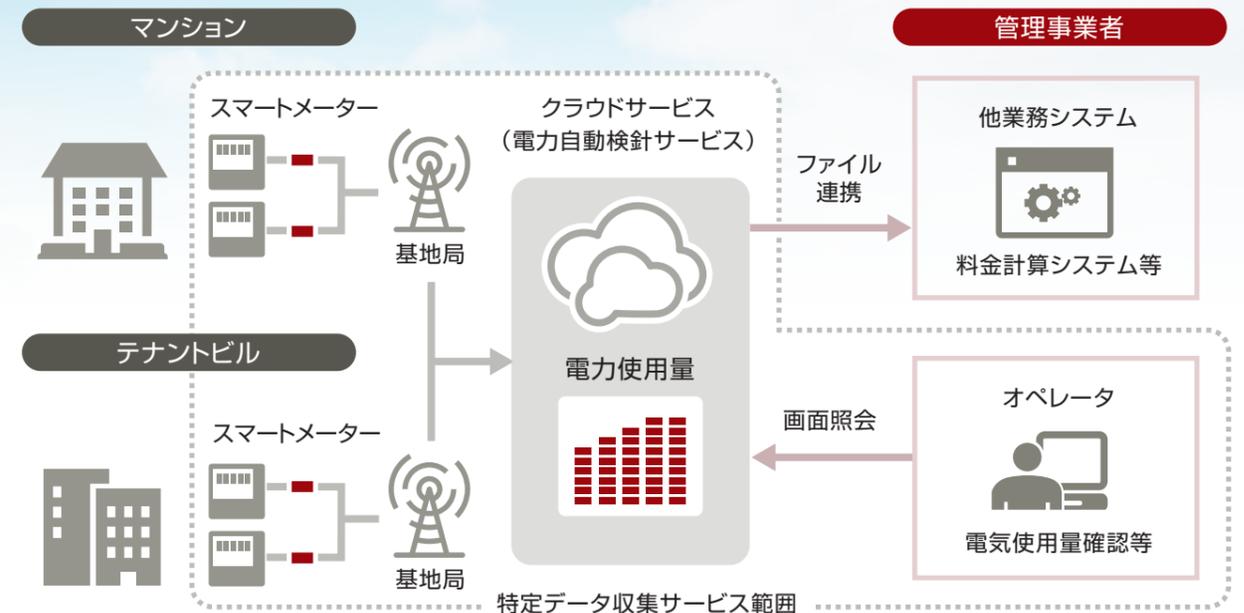
（※1）1:n 無線方式 … 通信事業者の携帯回線を利用してデータ通信を行う方式

（※2）B ルート … スマートメーターとお客様の EMS（Energy Management System）等の機器との通信ルート



サービス全体像

富士通が提供する「FUJITSU Intelligent Society Solution 特定データ収集サービス」は、スマートメーター本体と通信ネットワーク、収集機能を持つクラウドサービスから構成されるスマートメーターネットワークソリューションです。



3つの特長

1. スマートメーターソリューションをワンストップ提供



スマートメーター本体、通信ネットワーク、電力自動検針サービスをワンストップでご提供します。効率的な現地導入作業やトラブル発生時の迅速な障害切り分けによる早期リカバリーが可能となり、導入から運用・保守まで安心してご利用いただけます。

2. 柔軟な導入を実現する 1:n 無線方式



本サービスのネットワークは通信事業者の携帯回線を利用した通信方式を採用しているため、集約装置設置やネットワーク設計が不要となります。従来の通信方式では適用が困難であった数台規模の分散拠点や部分的なスマートメーター化が可能となります。

3. エネルギー利用最適化を実現する電力使用量データ詳細取得



安定したネットワークによる30分電力使用量データの収集や B ルート通信機能を利用した電力使用に関する詳細データ取得が可能となります。閾値管理によるピーク抑制や様々な切り口での見える化を行うことで節電を推進し、エネルギー利用の最適化を実現します。